

2021 年度大学入学共通テスト解説〈世界史B〉

第1問 資料と世界史上の出来事との関係

A

問1 正解は③。

③ ー李斯が入る。李斯は、徳ではなく成文法による統治（法治主義）を主張した法家の一人で、秦王政（始皇帝）に仕えてその中国統一後には、丞相として様々な中央集権策を進言した。

あー孟子は、戦国時代に活躍した儒家で、孔子の説を継承・発展させて性善説や仁義を唱えた。

いー張儀は、縦横家の一人で、秦王の信任を得て諸国に秦との連衡を説き、6国の同盟で秦に対抗しようとした蘇秦の合従策を破った。

Xー家族道徳を社会秩序の規範としたのは儒家である。

Yー血縁を越えて無差別に人を愛すること（兼愛）を説いたのは墨家である。

Zー法律による秩序維持を通じて、人民を支配することを説いたのは法家である。

したがって、正解はうーZになる。

問2 正解は③。

③ナチスは、秘密警察のゲシュタポを創設し、敵対する勢力の摘発を行うなど言論の自由を抑圧したため、国民生活は厳しく統制された。

①始皇帝は、焚書・坑儒により医薬・占い・農業関係以外の書物を焼き捨てた。

②教皇の至上権が再確認され、禁書目録を定めて異端弾圧を強化したのは、16世紀後半のトリエント公会議である。エフェソス公会議は5世紀前半に開かれ、ネストリウス派を異端とした。

④冷戦下で、共産主義者を排除する運動がマッカーシーによって盛んに行われたのはアメリカ合衆国である。

問3 正解は②。

②前漢の武帝は、財政難を打開するために均輸（法）・平準（法）を制定し、国家収入の増大を図るとともに物価の調整を行った。資料からは、司馬遷が自由な経済活動を重んじていたことと、彼が生きた時代に行われていた政策を批判していたことが読み取れるので、司馬遷は武帝が行っていた均輸・平準に批判的であったと判断できる。

①前漢の第6代の景帝^{けい}が、諸侯の勢力を削減したことに對して、前154年に起こった呉楚七国の乱^{ごそ}についての文である。司馬遷が生きた時代の出来事ではない。

③武帝は董仲舒^{とうちゆうじよ}の提言を受け入れて、儒教（儒学）を官学化した。本問は資料を正しく読解できているかが試された問題で、資料には、司馬遷が自由な経済活動を重んじていたとの前置きがあり、かつ彼が生きた時代に行われていた政策への批判の表明である、と書かれている。したがって、儒教の官学化は司馬遷が生きた時代の出来事ではあるが、経済政策ではないため誤文と判断できる。

④三長制が導入されたのは北魏^{こふぶん}の孝文帝の時代である。

B

問4 正解は③。

資料から「1789年」「革命」「フランス」「公安委員会」などの表現が読み取れるので、著者のマルク＝ブロックが前提としていた歴史上の出来事は、フランス革命であると判断できる。

あー正文。国民議会は、フランスの財政難の解決を目的に教会財産を没収（国有化）して競売にかけたほか、ギルドの廃止や立憲君主政を明記した1791年憲法の制定を行った。

いー誤文。共和政の成立を宣言し、国王を処刑したのは国民公会である。総裁政府は、テルミドール9日のクーデタ後に制定された1795年憲法（共和国第3年憲法）に基づいて成立した。

xー誤文。資料文の「農村共同体が文書資料を保有しているのは、珍しいことです」という部分から、村の歴史を書くために利用できる主な資料は農村共同体の資料ではないことが判断できる。

yー誤文。資料がより良い状態でまとまって長く保管されている可能性が高く、かつ公文書保管所に預けられている資料は、研究者が利用できる形で保存されていることが期待できるという点から、領主が教会であった場合が最も望ましいと読み取ることができる。

zー正文。革命によって亡命した俗人領主の資料は押収されるが、亡命しなかった俗人領主はそのまま資料を保有しており、かつ研究者に資料を見せる義務がないので、著者は「極めて厄介」と述べていることが分かる。

したがって、正解はあーzになる。

問5 正解は④。

資料がフランス革命を前提として書かれていることから、マルク＝ブロックが言う「嫌われた体制」とは旧制度（アンシャン＝レジーム）であることが分かる。

④旧制度下では、第一身分が聖職者、第二身分が貴族、第三身分が平民とされており、第一・第二身分は免税などの特権を有していた。一方、人口の大部分を占める第三身分は、課税対象とされていながらも、政治的な権利は与えられていなかった。こうした矛盾が、フランス革命の原因の一つとされている。

① 産業資本家は、18 世紀後半からイギリスで始まる産業革命によって台頭した中産階層である。フランスで産業革命が進展し、産業資本家が台頭するのは 19 世紀半ば頃である。18 世紀末のフランス革命を前提としている、ブロックが言う「嫌われた体制」の特徴には当てはまらない。

②ヘイロータイは、スパルタに征服された人々を起源とする隷属農民で、市民の土地を耕作し、生産物の一部を納めた。

③強制栽培制度は、1830 年から 19 世紀後半にかけてオランダが植民地のジャワで実施した経済政策である。村落にコーヒー・サトウキビ・藍などの作物栽培を割りあて、安価に買い上げた。

第2問 世界史上の貨幣

A

問1 正解は②。

グラフ1から、イギリスの金貨鑄造量が500万ポンドに達したのが、1776年頃であることが読み取れる。したがって、1773年に起こったボストン茶会事件が、1776年より前に起こった出来事となる。①イダルゴの蜂起を経て、メキシコがスペインから独立したのは1821年である。③ロシアとカージャール朝との間で、トルコマンチャーイ条約が締結されたのは、1828年である。④アレクサンドル1世の提唱によって、神聖同盟が結成されたのは1815年である。

問2 正解は③。

③ フランス、 紙幣を大量に発行するが入る。

グラフ1から、イギリスの金貨鑄造量が10年以上にわたって100万ポンドを下回り続けたのは、1799年から1813年の間であることが読み取れる。この期間は、ナポレオン戦争中であることから、 に当てはまるのが「フランス」だと分かる。次に、グラフ2の1799年から1813年までのイギリスにおける紙幣流通量を確認すると、それ以前に比べ大幅に発行量が増加したことが読み取れるため、 には「紙幣を大量に発行する」が当てはまる。

問 3 正解は①。

設問文の「イギリスでは、ソブリン金貨（鑄造時の君主の肖像を打刻した金貨）が、大量に発行されるようになった」という部分と、図の金貨が「1852 年鑄造」とあることから、図の金貨に肖像が打刻されている君主がヴィクトリア女王（位 1837～1901）であることが分かる。ヴィクトリア女王は、1877 年にインド帝国の初代皇帝に即位した。②グレートブリテン王国（大ブリテン王国）の成立は、アン女王（位 1702～14）治世下の 1707 年である。③統一法は、エリザベス 1 世（位 1558～1603）によって 1559 年に制定された。④ハノーヴァー朝は、1714 年にジョージ 1 世（位 1714～27）によって開かれた。

B

問 4 正解は③。

「中国で、各種の税や徭役を銀に一本化して納入させるようになった」とは、明代後期の 16 世紀に始まった^{いちじょうべんぽう}一条鞭法を指している。の手前に「16 世紀」とあることから、③が正解となる。①中国産の銀が、大量に日本に流入したのではなく、日本銀が中国へと輸出された。②地丁銀が導入されたのは、18 世紀前半である。④アヘンの密貿易によって、大量の銀が中国から流出したのは 19 世紀の出来事である。

問 5 正解は③。

一青銅, 一秦, 一紙が入る。

半両銭は、秦代に発行された青銅製の統一貨幣であるため、には金ではなく青銅が、には宋ではなく秦が当てはまる。また、元代に使用された^{こうしょう}交鈔は紙幣であるため、には紙が当てはまる。

問 6 正解は④。

会話文中のの直前に、「父なるトルコ人」や「トルコ人の父」とあることから、「父なるトルコ人」を意味するアタテュルクの尊称を授与されたムスタファ＝ケマルがに当てはまる人物となる。ムスタファ＝ケマルはトルコ共和国の近代化を目指し、トルコ語の表記をアラビア文字からローマ字へと変更する文字改革を実施した。①ムスタファ＝ケマルは、1920 年にアンカラでトルコ大国民議会を組織した。②ムスタファ＝ケマルは、イズミルに侵入したギリシア軍を撃退した。③ムスタファ＝ケマルは政教分離を目的として、1924 年にカリフ制を廃止した。

第3問 文学者やジャーナリストの作品

A

問1 正解は④。

資料が『デカメロン』の一節であることから、本作品はルネサンス期のものであることが分かる。

あーペトラルカは、14世紀に活躍したイタリア＝ルネサンスの詩人で、古典研究を行ったほか、『叙情詩集』を著した。

いーボッカチオは、14世紀に活躍したイタリア＝ルネサンスの作家で、ペスト流行中のフィレンツェを題材にした『デカメロン』を著した。

うーエラスムスは、16世紀に活躍したネーデルラント出身の人文主義者で、その著書『愚神礼賛』でカトリック教会の腐敗を鋭く批判し、ルターの宗教改革に影響を与えたとされている。

Sー誤文。ダーウィンは19世紀のイギリスの博物学者で、その著書『種の起源』で種は自然淘汰によって進化したと説いた。ルネサンスの時期は14～16世紀なので、ダーウィンの影響は受けていない。

Tー正文。人文主義（ヒューマニズム）は、中世のキリスト教的・禁欲的な価値観や自然な人間性の抑圧を批判的に捉え、人間の理性や尊厳を尊重し、ルネサンスの基本精神となった。

したがって、正解はイーTになる。

問2 正解は⑤。

ーペスト（黒死病）が入る。ペストは14世紀半ば以降、数度にわたりヨーロッパを襲った疫病で、特に1340年代に大流行した際には、ヨーロッパ人口の3分の1を失わせたとされており、農業人口の激減による社会・経済の混乱を招くなど、封建社会の崩壊に拍車をかけた。

えーコレラの発生と流行が記録されたのは19世紀以降のことである。ドイツの医学者・細菌学者であったコッホが、19世紀後半にコレラ菌を発見した。

Xー誤文。資料の「しかしフィレンツェでは徴候が違います」という部分から、ペストに感染した人の症状が、オリエントとフィレンツェで異なることを読み取ることができる。

Yー正文。ペストの流行で農業人口が激減したため、領主は農民の待遇を改善せざるをえず、これにより農民の地位が向上するなど、農奴解放に拍車がかかった。

Zー誤文。ペストは、13世紀のモンゴル帝国における交易ネットワークによってヨーロッパに伝わった疫病である。また、『デカメロン』が書かれた14世紀半ばは大航海時代以前となるので、アメリカ大陸は「発見」されていない。

したがって、正解はおーYになる。

問3 14 正解は②。

②シトー修道会は 11 世紀に創設された修道会で、森林の開墾などを行い、大開墾運動の中心的な存在となった。

①モンテ＝カシノに修道院を創設したのは、ベネディクトゥスである。「祈り、働け」を生活原則の標語とし、「清貧・純潔・服従」を柱とするベネディクトゥスの戒律を掲げた。インノケンティウス 3 世は、12 世紀末から 13 世紀初頭の教皇で、イングランド王ジョンを破門し、フランス王フィリップ 2 世を圧倒するなど、教皇権は絶頂期を迎えた。

③ 10 世紀初頭にフランスに設立されたクリュニー修道院は、教会刷新運動の中心となり、教皇グレゴリウス 7 世の改革に影響を与えた。クローヴィスは、フランク人を統合して 5 世紀末にメロヴィング朝を創始した人物である。

④修道院を解散してその財産を没収したのは、チューダー朝のヘンリ 8 世である。王妃との離婚問題を契機に教皇と対立したヘンリ 8 世は 1534 年に、国王至上法（首長法）を制定し、イングランド王を首長とするイギリス国教会を創設してカトリック教会から離脱した。ヘンリ 3 世は、プランタジネット朝の君主で、大憲章を無視した政治を行ったことから 13 世紀後半にシモン＝ド＝モンフォールの反乱を招いた。シモンは、高位貴族や聖職者に加え、州の騎士や都市市民の代表者を集めた議会を開催した。これがイギリス議会の起源とされる。

B

問4 15 正解は④。

④隋や唐で実施された科挙は、儒学の教養を問うものであった。

①ブーランジェ事件やドレフュス事件を克服したフランスでは、反共和派の支持基盤であった軍部や教会の権威が失墜したため、第三共和政は安定に向かい、20 世紀初頭に政教分離法を制定して、カトリック教会の政治介入を排除することに成功した。

②中世ヨーロッパの学問では神学が重視され、オクスフォード大学やパリ大学では神学が盛んに研究された。また、哲学は神学の下に位置付けられ「哲学は神学はしための婢」とも言われた。

③イスラーム世界の高等教育機関はマドラサと呼ばれ、ファーティマ朝がカイロに建設したアズハル学院や、セルジューク朝の宰相ニザーム＝アルムルクが各地に建設したニザーミーヤ学院などが有名である。

問5 16 正解は②。

資料は、19 世紀以降のロシアにおける革命運動の展開について述べている。

②イー革命家が入る。資料からは、「農民の覚醒」を促すことに努めていることを読み取ることができるので、革命家が当てはまる。ウー官僚が入る。資料からは、「農民の覚醒」を防止することに苦心していることを読み取ることができるので、官僚が当てはまる。スローガンー「ヴ＝ナロード」（人民の中へ）。都市のインテリゲンツィアは、皇帝アレクサンドル 2 世の農奴解放令などの改革を不十分であるとし、「ヴ＝ナロード」を掲げ、農民による革命を社会変革の原動力にすべく、農村部での啓蒙活動に尽力したが、農民の無関心や官憲による取り締まりで挫折した。「無併合・無償金・民族自決」は 1917 年に起こった十一月革命（ロシア十月革命）でソヴィエト政権を発足させたレーニンが発表した「平和に関する布告」で提唱された。

問6 17 正解は③。

③エーアレクサンドル 2 世が入る。アレクサンドル 2 世は、クリミア戦争の敗北でロシアの後進性を痛感し、1861 年に農奴解放令を發布するなど、ロシアの本格的な近代化に着手した皇帝であるが、1880 年代に暗殺された。

あーエカチェリーナ 2 世は、18 世紀後半のロシア皇帝である。

Xー明治維新を迎え、本格的な近代国家（主権国家）への移行を目指した日本は、1870 年代に近隣の国々との国境線を明確化した。清とは日清修好条規を結び、ロシアとは樺太・千島交換条約を結んだ。1870 年代は皇帝アレクサンドル 2 世の時代である。

Yークリミア半島は、エカチェリーナ 2 世がオスマン帝国の保護国となっていたクリム＝ハン国を併合したことにより領有した。

したがって、正解はいーXになる。

C

問7 18 正解は①。

資料における作家の経歴からは、作家のオーウェルがトロツキーの影響を受けていたことやスペイン内戦に従軍したこと、そしてその時代が 1930 年代であることが読み取れる。

①レーニンの死後、その後継者の地位をめぐるトロツキーに勝利したスターリンは、1930 年代には反対派の人々に対して大粛清を行った。

②中華人民共和国で文化大革命（プロレタリア文化大革命）が起こったのは 1960 年代から 70 年代にかけてである。

③資本主義陣営の中に、「開発独裁」の国が登場したのは、おおよそ 1960 年代以降の出来事である。フィリピンのマルコス大統領、インドネシアのスハルト大統領、シンガポールのリー＝クアンユー首相、大韓民国（韓国）の朴正熙^{パクチョンヒ}大統領などが開発独裁の典型とされる。

④朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）が成立したのは、第二次世界大戦後の 1940 年代末である。初代首相となった金日成^{キムイルソン}は、その後、北朝鮮の最高指導者となり、その地位は 20 世紀末に子の金正日^{キムジョンイル}が継承した。

問 8 19 正解は②。

資料には、18 世紀の中国の朝廷と書かれているので、清代であることが分かる。

②『四庫全書』は乾隆帝^{けんりゅう}が編纂させた中国最大の叢書^{そうしょ}であり、当時の書籍を網羅して 4 部に分類編集した。また、この編纂事業は禁書の搜索^{そうさく}という思想統制としての側面ももっていた。改ざん前の文章と改ざん後の文章を見比べてみると、漢人と非漢人の衣服の違いについて書かれている箇所が改ざんされていることが分かる。そこで選択肢を見てみると、②・③・④・⑥は漢人と非漢人の文化的な違いを隠蔽するあるいは、分からないようにする趣旨の記述であるのに対し、①・⑤は中国と外国が盟約を結んでいたことを隠蔽する趣旨の記述であり、後者は資料から判断できるものではない。また、改ざんが行われていた時代は清の時代であるため、①・②の『四庫全書』しか当てはまらない。したがって、正解は②であると判断する力が求められた。

③・④『永楽大典』は、明の永楽帝^{えいらく}が編纂させた百科事典である。

⑤・⑥『資治通鑑』は、北宋の司馬光^{しばこう}が編年体で編んだ歴史書である。

第 4 問 国家や官僚が残した様々な文書

A

問 1 20 正解は②。

露土戦争（ロシア＝トルコ戦争）、クリミア戦争はともにオスマン帝国（オスマン朝）とロシア（ロマノフ朝）による戦争であり、その講和条約はそれぞれサン＝ステファノ条約とパリ条約である。露土戦争はロシアが勝利してオスマン帝国が敗北し、1878 年に結ばれたサン＝ステファノ条約で、ルーマニア・セルビア・モンテネグロの独立やブルガリア自治公国の成立（事実上ロシアの保護国化）などが決定した。クリミア戦争はオスマン帝国・イギリス・フランス・サルデーニャが勝利してロシアが敗北し、1856 年に結ばれたパリ条約でロシアの南ベッサラビアの放棄や黒海の中立化などが決定した。資料中の第 43 条に「ルーマニアの独立を承認する」とあるため、資料は露土戦争の講和条約であるサン＝ステファノ条約を破棄して結ばれたベルリン条約であることが分かる。

問 2 正解は②。

資料の条約がベルリン条約であることから、その内容のうち空欄 に当てはまる、オスマン帝国の自治公国として国際的に認められたのは、ブルガリアである。ブルガリアは黒海西岸に位置し、1878 年のサン＝ステファノ条約で自治公国となったが、同年のベルリン条約で東ルメリア（現在のブルガリア南東部）やマケドニアなど領土の一部を削減され、オスマン帝国支配下の自治国に留まった。地図中の b はベルリン条約によって削減されたブルガリア自治公国の領域である。a はモンテネグロで、サン＝ステファノ条約でオスマン帝国から独立し、ベルリン条約で国際的に承認された。c はギリシアで、19 世紀前半のギリシア独立戦争の結果結ばれたアドリアノーブル条約とロンドン会議で独立が承認された。d はキプロス島で、1878 年のベルリン条約の結果、イギリスがオスマン帝国から行政権を獲得した。

問 3 正解は③。

あー誤文。ボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合したのは、イタリアではなくオーストリア（オーストリア＝ハンガリー帝国）である。1878 年のベルリン条約でオーストリアはオスマン帝国からこの地域の行政権を獲得し、1908 年の青年トルコ革命に乗じて併合した。

いー正文。1914 年にボスニア・ヘルツェゴヴィナを訪れたオーストリアの皇位継承者夫妻は、ボスニアの州都サラエヴォでセルビア人青年の襲撃を受けて暗殺された（サラエヴォ事件）。この事件をきっかけに第一次世界大戦が起こった。

B

問 4 正解は①。

ーアメリカ合衆国、ーソ連が入る。戦後、日本を占領したアメリカ合衆国は東西冷戦構造が確立する中で日本を自陣営に引き込むため、1951 年のサンフランシスコ講和会議で西側諸国との単独講和を成立させた（会話文より）。1969 年にアメリカ合衆国の大統領に就任したニクソンは、1972 年に当時ソ連と対立していた中華人民共和国を訪問し、ベトナム戦争の打開と米中関係の改善を図った（資料 X より）。ソ連はサンフランシスコ講和条約には参加したものの、中国の国連代表権や条約の内容などでアメリカ合衆国と折り合いがつかず、条約には署名しなかった。そのため、日本とは別個に講和を成立させる必要があり、1956 年に鳩山一郎首相がモスクワを訪れてフルシチョフ第一書記との会談を経て日ソ共同宣言を発表し、国交を回復した（会話文より）。国交樹立以前のソ連は、戦後に成立した中華人民共和国とともに日本・アメリカ合衆国を極東における仮想敵国と認識し、1950 年に中ソ友好同盟相互援助条約を締結した（資料 Y より）。

問 5 正解は③。

資料 X - 1972 年 2 月に発表された米中共同声明(上海コミュニケ)である。中華人民共和国を訪れたアメリカ合衆国のニクソンは毛沢東・周恩来と会談して中華人民共和国を承認し、東アジアにおける冷戦構造に変化をもたらした。

資料 Y - 1950 年に成立した中ソ友好同盟相互援助条約で、ソ連が前年に成立した中華人民共和国を援助し、日本・アメリカ合衆国に対抗しようとした。

資料 Z - 1972 年 9 月に発表された日中共同声明である。1972 年 2 月の米中共同声明を受けて日本の田中角栄首相は中華人民共和国を訪問し、日中共同声明を発表して日中国交正常化を実現した。

したがって、正解は Y → X → Z になる。資料 X・Z は同年の声明文ではあるが、アメリカ合衆国の行動に日本が追随するという国際政治の展開を理解しているかが問われた。

問 6 正解は②。

②国共内戦の結果、大陸では 1949 年に中華人民共和国が成立したが、アメリカ合衆国は台湾に逃れた中華民国政府(国民党政権)を中国における正式な代表とする立場を維持した。そのため、サンフランシスコ講和会議に中華人民共和国は参加できず、このことや条約の内容を理由にソ連は平和条約調印を拒否した。

①国共合作は第二次世界大戦前の 1924 年と 1937 年の 2 度成立したが、日中戦争が終結した翌年の 1946 年に国共内戦の本格化によって最終的に崩壊した。

③朝鮮戦争の際、中華人民共和国は朝鮮民主主義人民共和国を支援して人民義勇軍を派遣した。

④中華人民共和国政府は建国以来様々な民主化運動の弾圧を行っているが、その中でも 1989 年の天安門事件(第 2 次天安門事件)での学生などの民主化運動に対する弾圧は国際的な批判を浴び、欧米諸国を中心に経済制裁が発動された。

C

問 7 正解は①。

あー空欄 は会話文中に登場する「古代インドで多くの文学作品が書かれた」言語であることから「サンスクリット」が入るため、サンスクリット文学の傑作である『シャクンタラー』が該当する。『シャクンタラー』はグプタ朝の宮廷で活躍したカーリダーサの作品で、叙事詩『マハーバーラタ』に登場するシャクンタラーを中心とした戯曲である。

いー『ルバイヤート』は、セルジューク朝時代の詩人・学者であるウマル＝ハイヤームが著した、ペルシア語の詩集である。

W－資料で公共教育委員会の「委員の残りの半数」がアラビア語を推しており、会話文では先生が推測としてムスリムにとってアラビア語が重要だと考えていることから候補に挙げていたと説明している。

X－資料でマコーリーが西洋の文献の本質的優位性が十分に容認されると述べており、東洋学者が「すぐれたヨーロッパの図書館の……否定する人を、私は彼らの中に一人として見出せませんでした」とあることから、西洋の文献の優位性を否定する者はいないことが分かる。あくまでもマコーリーの主観で述べているので、実際にいるかどうかは関係ないことに注意する必要がある。

したがって正解は、あ－Wになる。

問 8 27 正解は③。

え－会話文で先生が「植民地政府は英語も使えるインド人役人を必要として」いることに触れており、英語と植民地支配下の村・郡の帳簿・命令書で用いられていたインド諸語の両方を理解するインド人役人の育成が、動機であることが分かる。

う－会話文では植民地支配以前ではペルシア語やインド諸語が用いられていることには触れているが、英語の使用状況についての言及はない。

Y－イギリスはインドの統治に際し、インド政庁による直接統治と現地の藩王を通じた間接統治を組み合わせた植民地経営をしていた。

Z－インド帝国ではインド人が団結してイギリスに反抗することを防ぐために宗教を利用した離間策をとっていたが、ベンガル分割令はムスリムとヒन्दウー教徒の対立をねらって発布したものである。

したがって正解は、あ－Wになる。

問 9 28 正解は②。

②ムガル帝国は 16 世紀にインド北部で成立した国家で、第 5 代君主となったシャー＝ジャハーンはアグラ郊外に王妃ムムターズ＝マハルの墓廟ぼびょうとしてタージ＝マハルを建立した。インド＝イスラーム建築の傑作とされる。

①インドの言語にイスラーム勢力の進出によって広まったアラビア語やムガル帝国の宮廷の公用語であるペルシア語が融合して形成されたのは、ウルドゥー語である。タミル語は古代インドから存在するドラヴィダ系民族が用いた言語であり、ペルシア語がインドにもたらされる以前から用いられている。

③ワヤンが発達したのはインドではなく、ジャワ島のクディリ朝などである。

④ウルグ＝ベクは 15 世紀中頃のティムール帝国(ティムール朝)の君主で、サマルカンドに天文台を建設するなど、トルコ＝イスラーム文化の発達に貢献した。

第 5 問 旅と歴史

A

問 1 29 正解は①。

地域 1 は「ガリバルディという人がイタリア統一の過程でこの島を占領した」という記述からシチリア島であることが分かる。

①シチリア島はビザンツ帝国やアラブ人の支配を受けた影響で、ギリシア語やアラビア語文化の学術が発達した。12 世紀にノルマン人によって両シチリア王国が成立すると、特にアラビア語文献のラテン語への翻訳が盛んになり、中世ヨーロッパの学術につながった(12 世紀ルネサンス)。

②北ヨーロッパを原住地としていたノルマン人は民族移動の中で地中海に進出し、1130 年にルジジェーロ 2 世はシチリア島とイタリア半島南部の支配権を確立して両シチリア王国が成立した。

③第二次世界大戦中の 1943 年 7 月、イタリアに対する戦略として連合国軍はシチリア島に上陸した。シチリア島での戦闘で敗北が決定的になりイタリア半島への連合軍の上陸が現実的なものになると、ムッソリーニは首相を解任され、失脚した。

④シチリア島は地中海の中央、北イタリアとイタリア半島の中間に位置するため、この海域の要衝として多くの民族がこの島に入植した。シラクサはギリシア人の、パレルモはフェニキア人の植民市に由来する。

問 2 30 正解は①。

地域 2 は「島国の首都」「1851 年に万国博覧会が開催され、世界的にも高名な博物館があるこの都市」という記述から、イギリスの首都ロンドンであることが分かる。イギリス(イングランド)が起こした「14 世紀に始まり 15 世紀まで続いたこの戦争」は百年戦争であることから、空欄 ア に入る国はフランスである。

あー第一次世界大戦後に課された賠償金の支払いが不履行となったことから、1923 年にフランスはベルギーとともにドイツ西部の工業地帯であるルール地方を占領した(ルール占領)。

いーカルマル同盟(カルマル連合)でデンマークと合併(同君連合を形成)したのは、ノルウェー・スウェーデンである。

くーフランス王位の継承権のほか、フランドル地方やギユイエンヌ地方などの領有権をめぐる対立も、百年戦争の要因となっていた。

こー百年戦争中の 1399 年にイギリスではプランタジネット朝が断絶し、ランカスター朝が成立した。ノルマン朝は 1066 年にノルマンディー公ウィリアムがイングランドを征服して成立した王朝である。

問 3 31 正解は②。

地域 1 のシチリア島は、前 3 世紀の第 1 次ポエニ戦争で勝利したローマがカルタゴから割譲されて支配下に入った。

地域 2 のロンドンは、後 1 世紀にローマ帝国の支配下に入り、ブリタニア属州の中心としてロンディニウムが建設された。

地域 3 の都市は「イオニア人のポリス」「近代オリンピックの第 1 回大会がこの都市で開催された」などの記述からアテネである。アテネは前 2 世紀にローマがギリシア・マケドニアを征服したときにローマの支配下に入った。

したがって、正解は地域 1 → 地域 3 → 地域 2 になる。

B

問 4 32 正解は④。

ウ 大院君^{だいいんくん}が入る。19 世紀後半に朝鮮王となった高宗の父である大院君は、幼少の子に代わって政治の実権を握り、対外的には中国には従属しながらも、その他の国とは積極的に関係を持つとせよとせず排外的に思想を持っていた。

あ 西太后^{せいたいこう}は清の咸豊帝^{かんぽう}の妃であり、同治帝^{どうち}・光緒帝^{こうしよ}期の清朝で政治の実権を握った。

Y 石碑に「洋夷が侵犯してくる時に、戦わないのは和であり、和を主張するのはすなわち売国である」とあり、欧米の進出に対して戦わないことを批判している。また、知識人のキリスト教とそれを信仰する欧米列強を斥ける「衛正斥邪」の思想が大院君の主張に通じるとあり、欧米に対する敵視姿勢を読み取ることができる。

X 海禁(制限貿易)についての説明ではあるが、貿易の統制に関する碑文や会話文はみられない。

したがって、正解はい Y になる。

問 5 33 正解は②。

会話文から「衛正斥邪」は朝鮮の思想を守り欧米の思想を排除することが読み取れ、空欄 オ に当てはまるのは朝鮮の官学とされた朱子学^{しゆし}であることが分かる。

② 王守仁^{おうしゅじん}は明代の儒学者で、朱子学の性即理説を批判して心即理説や知行合一を主張し、陽明学^{ようめい}を確立した。

① 寇謙之^{こうけんし}は北魏の時代に活躍した道士で、太武帝の保護のもとで道教教団(新天師道^{しんてんしどう})を設立した。

③ 義浄^{ぎじょう}は唐代の仏教の僧で、インドを往復して修行を積み、帰国後に仏典を漢訳した。

④ 王重陽^{おうじゅうよう}は金代の道士で、道教に儒教・仏教の要素を融合した全真教^{ぜんしんきょう}を創始した。

問 6 34 正解は①。

うー^{じんご}壬午軍乱の説明である。1882 年に軍の一部が日本の支援を受けていた^{びん}閔氏政権打倒のため閔氏の要人や日本大使館を襲撃して大院君政権を樹立したが、閔氏政権の要請を受けた清軍によって鎮圧された。

えー^{こうしん}甲申政変の説明である。壬午軍乱によって政権を維持した閔氏政権は清への依存を強めたことに対し、1884 年に開化派(独立党)の^{きんぎょくきん}金玉均などが日本と結びついてクーデタを起こし、閔氏政権を打倒して新政権を樹立したが、清軍が介入して鎮圧された。

おー^{こうご}甲午農民戦争(東学党の乱)の説明である。1894 年に東学の信徒を中心に農民が蜂起して大規模な農民反乱が発生し、これが起こると日本・清軍が朝鮮に出兵し、**日清戦争**の勃発につながった。

したがって、正解はう→え→おになる。